

するやうに飾りたり、其中に毯代をまきて、大床子を立たり、この床子につかせ給ふ也、百子の名、其説いまだつまびらかならず、一には百子は多きをいふ、此帳をつくる支度のおほき心をいふべし、

〔延喜式掃部三十八〕凡踐祚大嘗會祓禊儲料、輕幄、百子帳、軟障、大床子、屏風帳、茵等、貯納寮家、臨事出用、

○按ズルニ、百子帳ノコトハ、神祇部大嘗祭篇御禊儀條ニ散見セリ、參看スベシ、

几帳
名稱

〔倭名類聚抄屏障具〕帳几帳附 ○中略 今按、帳屬有「几帳」之名、所出未詳、

〔以呂波字類抄幾雜物〕几帳本朝式几帳一基

〔名目抄雜物〕几帳キヤウ

〔倭訓栞前編七〕きちやう 几帳と書り、几に帳あるをいふなり、新猿樂記には基帳と書り、枕几帳、

よせ几帳なども見えたり、袖に手を入れて張出すを袖几帳といへり、細工に物の稜を消を、几帳面といへり、

几帳製作

〔延喜式内匠十七〕年料几帳八基、四尺四基、料檜搏八材、土居并枝柱、熟銅十四兩、減金一兩一分、水銀二分、

漆二升、帛一尺二寸、絹二尺、布一尺二寸、石見綿十兩、掃墨六合、油三合、伊豫砥半顆、青砥一枚、炭八斗、

和炭一斛、單功七十七人、木作工廿人、漆塗工廿人、

伊勢初齋院裝束

几帳六基、四尺二基、二尺三基、料檜搏三材、枝柱、尺九寸、桁一枚、長三、六七寸、桁一枚、長五尺、並熟銅大八兩、

減金小一兩、水銀二分、漆一升五合、絹一尺五寸、細布一尺五寸、綿十兩、掃墨五合、油三合、伊豫砥半顆、

青砥一枚、炭六斗、和炭五斗、單功五十三人、木作工廿人、漆塗、

賀茂初齋院并野宮裝束

几帳十基、三尺六基、一、